



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 U R L <https://www.santen.com/ja>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 毅

問合せ先責任者 (役職名) Global Head of Investor Relations

(氏名) 佐久間 ギヨム T E L 06-7664-8621

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	210,763	△5.4	34,793	△20.3	28,219	△19.8	21,998	△19.6	21,816	△20.6	42,115	54.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 66.16	円 銭 66.05
2025年3月期第3四半期	78.21	77.98

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
2026年3月期第3四半期	百万円 401,161	百万円 282,436	百万円 283,382	% 70.6	円 銭 881.45
2025年3月期	409,277	285,181	286,242	69.9	839.20

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
2025年3月期	円 銭 一	円 銭 17.00	円 銭 一	円 銭 19.00	円 銭 36.00	
2026年3月期	一	19.00	一	一		
2026年3月期(予想)					19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益						
通期	百万円 294,000	% △2.0	百万円 54,000	% △9.1	百万円 44,000	% △6.1	百万円 33,500	% △6.6	百万円 34,000	% △6.2	円 銭 102.66	% △1.3

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

1. 2025年3月期より、コア指標の表記を見直しています。

2. IFRS(フル)ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料「1. 経営成績等の概況(1)当四半期の経営成績の概況(P3参照)」をご覧ください。

3. 2025年11月6日開催の取締役会において、自己株式の消却について決議し、2025年11月28日に消却しました。2026年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の消却の影響を考慮していますが、2025年5月13日に公表した業績予想からの変更はありません。なお、当該自己株式の消却については添付資料「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(P13参照)」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	322,273,954株	2025年3月期	342,055,554株
2026年3月期3Q	602,370株	2025年3月期	691,515株
2026年3月期3Q	329,628,807株	2025年3月期3Q	351,070,525株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2025年3月期 59,329株、2026年3月期3Q 27,968株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年2月5日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	13
3. 連結参考資料	14
(1) 主要製品売上収益	14
(2) 開発状況	15
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費	18
(4) 主要通貨為替レート	18

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

① 当第3四半期連結累計期間の業績の状況

(単位：億円)

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売 上 収 益	2,228	2,108	△5.4%
コア営業利益 ^{※1}	437	348	△20.3%
営業利益	352	282	△19.8%
四半期利益	273	220	△19.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	275	218	△20.6%
E B I T D A ^{※2}	506	420	△17.0%

当第3四半期連結累計期間の業績は売上、各段階利益共に減収減益となりましたが、2025年5月13日に公表した通期業績予想に対しては計画どおり、着実な進捗となりました。

[売上収益]

薬価改定や流通在庫水準調整の影響を受けたものの、新製品や主力製品拡大に注力し、前年同期と比べ5.4%減少し、2,108億円となりました。

◇日本

1%台後半の薬価改定、主力品の市場拡大再算定や前期末のアレジオン類好調の反動、2024年10月から導入された後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養制度の影響等を受けたものの、2025年4月に販売を開始したリジュセアミニ点眼液0.025%、2025年5月に販売を開始したアイリーア8mg硝子体内注射用キット114.3mg/mL、アレジオン眼瞼クリーム0.5%等の主力製品の拡大に注力した結果、前年同期と比べ12.4%減少し、1,048億円となりました。そのうち、一般用医薬品（中国、アジア除く）の売上収益は前年同期と比べ10.3%増加し、90億円となりました。

◇中国

流通在庫水準調整の影響はあったものの、円換算ベースで231億円（前年同期と比べ2.8%減少）、為替影響を除くと△0.7%と前年並みとなりました。なお、当期より香港を「アジア」から「中国」に変更しており、対前年同期増減率の算定においてもこの変更を反映しています。

◇アジア（中国除く）

韓国や東南アジア地域で緑内障やドライアイ製品が堅調に推移、また韓国におけるVEGF阻害剤ベオビュ®及びルセンティス®の、独占的な流通及び販売促進権に関する契約締結の影響もあり、円換算ベースで前年同期と比べ9.3%増加し（為替影響を除いた成長率は+12.2%）、237億円となりました。

◇EMEA^{※3}

緑内障とドライアイのリーダーシップポジション確立に注力した結果、円換算ベースで前年同期と比べ2.8%増加し（為替影響を除いた成長率は△1.9%）、582億円となりました。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ5.7%減少し、1,179億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ0.1%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△1.0%）、648億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ9.5%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+9.2%）、184億円となりました。

以上により、コアベースの営業利益は、前年同期と比べ20.3%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△20.1%）、348億円となりました。

[営業利益]

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ0.2%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△0.5%）、67億円となりました。これは主に、2014年にMerck & Co., Inc.（米国）から譲り受けた眼科製品、2019年より欧州で販売を開始した「プリザーフロ マイクロシャント」、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」及び、2023年より欧州で、2024年よりアジアで販売を開始した「Rocklatan / Roclanda（ロクラタン/ロクランダ）」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、3億円となりました。

その他の費用は、2億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は前年同期と比べ19.8%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△19.5%）、282億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、13億円となりました。

金融費用は、15億円となりました。

法人所得税費用は、前年同期から19億円減少し、61億円となりました。これは主に、上述のIFRS（フル）ベースの営業利益の減少に伴う税引前四半期利益の減少によるものです。

これらにより、四半期利益は前年同期と比べ19.6%減少し、220億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期と比べ20.6%減少し、218億円となりました。売上収益に対するその比率は、10.4%となりました。

※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を事業活動自体の収益性を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績から以下の収益及び費用を控除し、コアベースの業績を算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・企業買収に係る費用

※2 EBITDA=〔営業利益〕-〔その他の収益〕+〔その他の費用〕+〔減価償却費〕で算出しています。

※3 欧州、中東及びアフリカです。

② 研究開発活動

＜緑内障・高眼圧症領域＞

プロスタグラジンF_{2α}誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2025年8月に発売しました。

EP2受容体作動薬STN1011702（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、中国で2024年11月から第Ⅲ相試験を実施しています。

FP/EP3受容体作動薬STN1012600（DE-126、一般名：セペタプロスト）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2025年10月に発売しました。欧州では第Ⅱ相試験（探索的試験）を終了しました。

プロスタグラジンF_{2α}誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、アジアで2024年11月に販売承認を申請しました。欧州ではスペインなどで2024年8月に発売しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩）は、日本でROCK/NET阻害剤として2025年7月に製造販売承認を申請しました。欧州では販売承認を取得しており、スウェーデンなどで2023年2月以降販売しています。アジアでは順次販売承認を取得しており、韓国で2024年11月に発売しました。

ROCK阻害剤及びプロスタグラジンF_{2α}誘導体の配合剤STN1014000（PG-324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト）は、欧州で販売承認を取得しており、ドイツなどで2023年1月以降販売しています。アジアでは順次販売承認を取得しており、シンガポールで2025年3月に発売しました。

ROCK阻害剤及びプロスタグラジンF_{2α}誘導体の配合剤STN1014003（一般名：ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト）は、日本で2025年2月に第Ⅲ相試験を開始しました。

＜角結膜疾患（ドライアイを含む）領域＞

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスボリン）は、既に承認・販売されている欧州、アジアに続き、中国で2025年12月に発売しました。

ドライアイを対象とするSTN1014100（一般名：オロダテロール塩酸塩）は、日本で2025年5月に後期第Ⅱ相試験を開始しました。

フックス角膜内皮ジストロフィを対象としてアクチュアライズ株式会社と共同開発契約を締結しているSTN1010904*（一般名：シロリムス）は、米国、フランス、インドで2022年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。（*開発コード（STN1010904）は、第Ⅱ相試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2024年6月から追加の前期第Ⅱ相試験を実施しています。

アレルギー性結膜炎を対象とする眼瞼クリーム製剤STN1011402（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2024年5月に発売しました。中国では2026年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。アジアでは2025年12月に販売承認を申請しました。

アレルギー性結膜炎を対象とする1日2回点眼の高用量製剤STN1011403（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、中国で2025年3月に販売承認を申請しました。

翼状片を対象とするSTN1014200（CBT-001、一般名：ニンテダニブ）は、日本で2025年11月に後期第Ⅱ相試験を開始しました。

＜屈折異常領域＞

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2025年4月に発売しました。中国では2022年6月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。アジアでは2025年7月に販売承認を申請しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、欧州ではドイツで2025年7月に発売しました。

＜網膜疾患領域＞

糖尿病黄斑浮腫を対象とするSTN1014300（RC28-E、一般名：eflimrufusp alfa）は、導入元であるRemeGen Co., Ltd.（中国）により中国で2025年9月に販売承認を申請しました。

滲出型加齢黄斑変性を対象とするSTN1014301（RC28-E、一般名：eflimrufusp alfa）は、導入元であるRemeGen Co., Ltd.（中国）により中国で第Ⅲ相試験が実施されています。

<その他の領域>

眼瞼下垂を対象とするSTN1013800（一般名：オキシメタゾリン塩酸塩）は、日本で2025年12月に製造販売承認を取得しました。欧州では2024年12月から第Ⅲ相試験を実施しています。中国では2024年10月から第Ⅲ相試験を実施しています。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324及びPG-324はAlcon Inc.（イス）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）、RC28-EはRemeGen Co., Ltd.（中国）、CBT-001はCloudbreak Pharma Inc.（米国）での開発コードです。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末の資産は、4,012億円となりました。ジクアスLX点眼液3%出荷再開に伴う製品等の棚卸資産の増加などがあった一方、営業債権流動化等運転資金の圧縮に取り組んだことに加えて、現金の減少などにより前期末と比べ81億円減少しました。

資本は、2,824億円となりました。その他の資本の構成要素の増加などがあった一方、自己株式の消却に伴う利益剰余金の減少などにより前期末と比べ27億円減少しました。

負債は、1,187億円となりました。金融負債の増加などがあった一方、営業債務及びその他の債務の減少に加えて、その他の流動負債の減少などにより前期末と比べ54億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ0.7ポイント増加し、70.6%となりました。

なお、SantenグループではROE（親会社所有者帰属持分利益率）を最重要指標に、キャッシュ・フローの最大化と資本コストの低減の両面から株主価値最大化に取り組んでいます。キャッシュの源泉としては営業活動から得られるインフローを基本としつつ、キャッシュ・コンバージョン・サイクル管理により運転資本の効率を高めることでキャッシュ創出力の最大化に取り組みます。その一環として、営業債権の流動化を実施しており、ROIC（投下資本収益率）の改善に取り組んでいます。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、225億円の収入（前年同期は420億円の収入）となりました。四半期利益220億円、減価償却費及び償却費138億円、営業債務及びその他の債務の減少69億円、並びに法人所得税の支払額64億円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、116億円の支出（前年同期は72億円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出50億円及び無形資産の取得による支出68億円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、478億円の支出（前年同期は524億円の支出）となりました。自己株式の取得による支出328億円及び配当金の支払額126億円などによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比べ315億円減少し、615億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2025年5月13日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	222,773	210,763
売上原価	△97,642	△92,814
売上総利益	125,130	117,949
販売費及び一般管理費	△64,702	△64,784
研究開発費	△16,773	△18,372
製品に係る無形資産償却費	△6,638	△6,651
その他の収益	384	312
その他の費用	△2,206	△236
営業利益	35,195	28,219
金融収益	1,429	1,339
金融費用	△1,316	△1,482
税引前四半期利益	35,309	28,076
法人所得税費用	△7,961	△6,077
四半期利益	27,348	21,998
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△2,221	1,570
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	1,928	18,546
キャッシュ・フロー・ヘッジ	15	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	115	—
その他の包括利益	△163	20,116
四半期包括利益合計	27,185	42,115
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	27,465	21,816
非支配持分	△117	183
四半期利益	27,348	21,998
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	27,318	41,999
非支配持分	△132	115
四半期包括利益合計	27,185	42,115
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	78.21	66.16
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	77.98	66.05
<コアベース>		
コア営業利益	43,655	34,793

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	72,954	77,054
無形資産	75,467	77,477
金融資産	16,177	23,130
退職給付に係る資産	7,861	7,470
繰延税金資産	10,017	10,176
その他の非流動資産	2,501	2,746
非流動資産合計	184,978	198,054
流動資産		
棚卸資産	51,590	60,071
営業債権及びその他の債権	71,759	68,620
その他の金融資産	997	4,275
未収法人所得税	324	730
その他の流動資産	6,633	7,866
現金及び現金同等物	92,997	61,544
流動資産合計	224,300	203,107
資産合計	409,277	401,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,806	8,819
資本剰余金	9,797	9,364
自己株式	△1,161	△978
利益剰余金	228,291	205,635
その他の資本の構成要素	40,509	60,542
親会社の所有者に帰属する持分合計	286,242	283,382
非支配持分	△1,061	△946
資本合計	285,181	282,436
負債		
非流動負債		
金融負債	30,940	36,146
退職給付に係る負債	1,221	1,433
未払法人所得税等	122	—
引当金	670	716
繰延税金負債	2,606	2,983
その他の非流動負債	1,701	1,781
非流動負債合計	37,260	43,060
流動負債		
営業債務及びその他の債務	38,989	32,854
その他の金融負債	25,573	24,036
未払法人所得税等	2,239	2,156
引当金	2,087	1,412
その他の流動負債	17,949	15,206
流動負債合計	86,837	75,665
負債合計	124,096	118,725
資本及び負債合計	409,277	401,161

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて在外営業公正価値で測定する金融資産の純変動
2024年4月1日残高	8,777	9,854	△1,018	240,029	—	5,481 40,306
四半期包括利益				27,465		
四半期利益				27,465		
その他の包括利益					△2,221	1,944
四半期包括利益合計	—	—	—	27,465	—	△2,221 1,944
所有者との取引額						
新株の発行	19	19				
自己株式の取得		△46	△37,836			
自己株式の処分		8	875			
自己株式の消却		△28,400	28,400			
利益剰余金から資本剰余金への振替		28,392		△28,392		
配当金				△12,112		
株式報酬取引		△231				
その他				384		△384
所有者との取引額合計	19	△258	△8,562	△40,120	—	△384 —
2024年12月31日残高	8,797	9,596	△9,580	227,374	—	2,876 42,249

	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
			新株予約権	合計			
2024年4月1日残高		△20	2,464	181	48,411	306,055	△685 305,369
四半期包括利益				—	27,465	△117	27,348
四半期利益					—	27,465	△117 27,348
その他の包括利益		15	115	△147	△147	△15	△163
四半期包括利益合計		15	115	—	△147	27,318	△132 27,185
所有者との取引額							
新株の発行			△38	△38	0		0
自己株式の取得				—	△37,883		△37,883
自己株式の処分				—	882		882
自己株式の消却				—	—		—
利益剰余金から資本剰余金への振替				—	—		—
配当金				—	△12,112		△12,112
株式報酬取引				—	△231		△231
その他				△384	—		—
所有者との取引額合計		—	—	△38	△422	△49,344	— △49,344
2024年12月31日残高		△5	2,580	142	47,842	284,028	△817 283,211

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて在外営業公正価値で測定する金融資産の純変動	活動体の定する金融資産の純変動
2025年4月1日残高	8,806	9,797	△1,161	228,291	—	2,616	37,629
四半期包括利益				21,816			
四半期利益				21,816			
その他の包括利益					1,570	18,613	
四半期包括利益合計	—	—	—	21,816	—	1,570	18,613
所有者との取引額							
新株の発行	14	14					
自己株式の取得		△22	△32,774				
自己株式の処分		1	1,019				
自己株式の消却		△31,937	31,937				
利益剰余金から資本剰余金への振替		31,936		△31,936			
配当金				△12,659			
株式報酬取引		△424					
その他				124		△124	
所有者との取引額合計	14	△433	182	△44,472	—	△124	—
2025年12月31日残高	8,819	9,364	△978	205,635	—	4,063	56,242

	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2025年4月1日残高	—	140	124	40,509	286,242	△1,061	285,181
四半期包括利益				—	21,816	183	21,998
四半期利益				20,184	20,184	△68	20,116
四半期包括利益合計	—	—	—	20,184	41,999	115	42,115
所有者との取引額							
新株の発行		△27	△27	0			0
自己株式の取得			—	△32,797			△32,797
自己株式の処分			—	1,021			1,021
自己株式の消却			—	—			—
利益剰余金から資本剰余金への振替			—	—			—
配当金			—	△12,659			△12,659
株式報酬取引			—	△424			△424
その他			△124	—			—
所有者との取引額合計	—	—	△27	△151	△44,860	—	△44,860
2025年12月31日残高	—	140	97	60,542	283,382	△946	282,436

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	27,348	21,998
減価償却費及び償却費	13,549	13,804
減損損失	200	—
受取利息、受取配当金及び支払利息（△は益）	△459	△255
法人所得税費用	7,961	6,077
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	21,862	5,872
棚卸資産の増減（△は増加）	△6,267	△5,376
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△7,793	△6,949
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	116	△310
その他の流動資産の増減（△は増加）	△104	△846
未払賞与の増減（△は減少）	△2,762	△1,054
未払金の増減（△は減少）	△6,591	△3,298
預り金の増減（△は減少）	2,679	△2,175
その他	2,623	1,315
小計	52,363	28,803
利息の受取額	748	602
配当金の受取額	413	351
利息の支払額	△773	△843
法人所得税の支払額	△10,714	△6,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,038	22,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△2	△105
投資の売却による収入	1,294	244
有形固定資産の取得による支出	△5,735	△4,953
無形資産の取得による支出	△2,520	△6,765
その他	△285	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,247	△11,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△159	—
自己株式の取得による支出	△37,883	△32,795
配当金の支払額	△12,044	△12,574
リース負債の返済による支出	△2,361	△2,467
その他	0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,446	△47,834
現金及び現金同等物の増減額	△17,656	△36,930
現金及び現金同等物の期首残高	94,582	92,997
現金及び現金同等物の為替変動による影響	925	5,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,851	61,544

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Santenグループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(自己株式の取得)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えで適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2024年5月10日から2024年11月6日までに16,985,400株を総額28,645百万円で取得しました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2024年11月6日（約定ベース）をもって終了しました。

また、当社は、2024年11月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えで適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2024年11月8日から2024年12月12日までに5,000,000株を総額8,490百万円で取得しました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2024年12月12日（約定ベース）をもって終了しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

2023年4月13日発表の中期経営計画（2023-2025年度）における資本配分の方針に基づき、収益力の改善や事業環境などを総合的に勘案し、利益還元の強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

(2) 取得に係る事項の内容

① 取得対象株式の種類	当社普通株式
② 取得しうる株式の総数	5,000,000株（上限） (発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.4%)
③ 株式の取得価額の総額	100億円（上限）
④ 取得期間	2024年11月8日～2025年3月21日
⑤ 取得方法	取引一任方式による市場買付け

(自己株式の消却)

当社は、2024年11月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について決議し、2024年11月29日に消却を行いました。

なお、今回消却した自己株式は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式になります。

① 消却した株式の種類	当社普通株式
② 消却した株式の総数	16,985,400株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 4.7%)
③ 消却実施日	2024年11月29日

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（自己株式の取得）

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替え
て適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2025年5月22日から2025年11月5日までに19,800,000株を総額31,896百万円で取
得しました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2025年11月5日（約定ベース）をもつ
て終了しました。

（自己株式の消却）

当社は、2025年11月6日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の
消却に係る事項について決議し、2025年11月28日に消却を行いました。

なお、今回消却した自己株式は、2025年5月13日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株
式になります。

① 消却した株式の種類	当社普通株式
② 消却した株式の総数	19,800,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 5.8%)
③ 消却実施日	2025年11月28日

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名	地域	2025年3月期		2026年3月期			
		第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	対前期 増減率	2月5日発表 通期見込	対前期 増減率
緑内障・高眼圧症治療剤領域							
コソブト配合点眼液	合計	20,437	26,799	20,549	0.5%	25,124	△6.2%
	日本	2,117	2,530	1,336	△36.9%	1,635	△35.4%
	アジア	5,237	6,919	5,277	0.8%	7,014	1.4%
	EMEA	13,021	17,252	13,853	6.4%	16,379	△5.1%
タプロス点眼液	合計	12,926	16,461	11,876	△8.1%	15,853	△3.7%
	日本	2,751	3,316	1,824	△33.7%	2,759	△16.8%
	中国	1,793	2,472	1,845	2.9%	2,332	△5.7%
	アジア	1,761	2,337	1,796	2.0%	2,704	15.7%
タプコム配合点眼液	EMEA	6,621	8,336	6,412	△3.2%	8,059	△3.3%
	合計	7,355	9,661	7,029	△4.4%	9,712	0.5%
	日本	1,278	1,562	856	△33.0%	1,201	△23.1%
	中国	72	82	57	△21.0%	193	134.6%
エイベリス点眼液	アジア	1,099	1,499	1,214	10.5%	1,580	5.4%
	EMEA	4,906	6,519	4,901	△0.1%	6,738	3.4%
	合計	4,063	5,291	4,297	5.8%	5,504	4.0%
	日本	3,582	4,625	3,656	2.0%	4,612	△0.3%
Catiolanz (カチオランゼ)	アジア	478	662	637	33.4%	885	33.7%
	合計	53	141	632	—	1,109	689.0%
	EMEA	53	141	632	—	1,109	689.0%
	合計	613	911	1,000	63.1%	1,798	97.3%
Rocklatan / Roclanda (ロクラタン / ロクランダ)	アジア	2	4	19	—	23	549.5%
	EMEA	611	908	981	60.5%	1,775	95.5%
	合計	613	911	1,000	63.1%	1,798	97.3%
	アジア	2	4	19	—	23	549.5%
角結膜疾患治療剤領域	EMEA	611	908	981	60.5%	1,775	95.5%
抗アレルギー点眼剤領域							
ジクアス点眼液	合計	8,563	11,134	7,899	△7.8%	10,233	△8.1%
	日本	4,866	6,501	4,901	0.7%	5,588	△14.0%
	中国	2,128	2,504	1,332	△37.4%	2,072	△17.2%
	アジア	1,569	2,130	1,667	6.2%	2,573	20.8%
ジクアスLX点眼液	合計	—	—	965	—	4,131	—
	日本	—	—	965	—	4,131	—
	合計	13,306	16,896	12,516	△5.9%	15,886	△6.0%
	日本	3,715	4,690	2,795	△24.8%	3,368	△28.2%
ヒアレイシ点眼液	中国	6,759	8,312	6,546	△3.2%	8,407	1.1%
	アジア	2,831	3,893	3,175	12.1%	4,111	5.6%
	合計	8,293	11,290	9,572	15.4%	12,132	7.5%
	EMEA	1,443	1,947	1,554	7.7%	2,215	13.7%
Ikervis (アイケルビス)	アジア	6,758	9,149	7,972	18.0%	9,777	6.9%
	EMEA	6,758	9,149	7,972	18.0%	9,777	6.9%
	合計	3,460	4,324	2,905	△16.1%	4,490	3.8%
	中国	282	283	189	△33.0%	679	140.4%
Cationorm (カチオノーム)	アジア	545	709	650	19.3%	808	14.0%
	EMEA	2,380	3,080	1,990	△16.4%	3,003	△2.5%
	合計	3,460	4,324	2,905	△16.1%	4,490	3.8%
	EMEA	2,380	3,080	1,990	△16.4%	3,003	△2.5%
網膜疾患治療剤領域							
アイリーア類※2 (アイリーア8mg硝子体内注射液、アイリー ア8mg硝子体内注射用キットを含む)	合計	60,308	78,052	53,032	△12.1%	71,575	△8.3%
	日本	60,308	78,052	53,032	△12.1%	71,575	△8.3%
	日本	60,308	78,052	53,032	△12.1%	71,575	△8.3%
	合計	1,472	1,821	1,831	24.4%	2,267	24.5%
Verkazia (ベルカジア)	中国	—	—	10	—	145	—
	EMEA	1,450	1,799	1,821	25.6%	2,121	17.9%
眼感染症治療剤領域							
クラビット点眼液	合計	11,027	13,641	10,765	△2.4%	13,393	△1.8%
	日本	572	679	364	△36.3%	420	△38.1%
	中国	7,118	8,492	7,083	△0.5%	8,287	△2.4%
	アジア	2,134	2,895	2,191	2.7%	3,086	6.6%
近視進行抑制治療剤領域	EMEA	1,202	1,576	1,126	△6.3%	1,600	1.5%
	合計	—	—	1,038	—	1,873	—
	日本	—	—	746	—	1,413	—
	EMEA	—	—	292	—	460	—
医療機器							
プリザーフロマイクロシャント	合計	4,213	6,053	5,793	37.5%	7,696	27.1%
	日本	1,131	1,680	1,680	48.6%	2,435	45.0%
	アジア	77	120	131	70.3%	157	30.8%
	EMEA	3,005	4,253	3,967	32.0%	5,050	18.7%
一般用医薬品	合計	8,985	11,578	9,631	7.2%	11,577	△0.0%
	日本	8,180	10,607	9,024	10.3%	10,810	1.9%
	アジア	627	786	605	△3.6%	767	△2.5%
	合計	8,985	11,578	9,631	7.2%	11,577	△0.0%

※1 2026年3月期より香港を「アジア」から「中国」に変更しています。対前期増減率の算定において2025年3月期の数値もこの変更を反映しています。

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

※3 上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（2）開発状況

2026年1月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

<緑内障・高眼圧症領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						2025年8月

プロスタグラジンF_{2α}誘導体及びβ遮断剤の配合剤。日本で、2014年11月に発売。欧州で、2015年1月以降順次発売。アジアで、2016年4月以降順次発売。中国で、2025年8月に発売。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オミデネパグ イソプロピル	STN1011702	緑内障・高眼圧症	U B Eと 共同開発	中国						

日本、アジアにて販売している新規メカニズムのEP2受容体作動薬の1回使い切り防腐剤フリー点眼剤。中国で、2024年11月からフェーズ3試験を実施中。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
セペタプロスト	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本						2025年10月
				欧州	(探索的試験)					

FP受容体及びEP3受容体への作動作用を有する二環式プロスタグラジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、2025年10月に発売。欧州で、フェーズ2試験（探索的試験）を終了。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						2024年8月
				アジア						2024年11月

プロスタグラジンF_{2α}誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。アジアで、2024年11月に販売承認を申請。欧州では、スペインなどで2024年8月に発売。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジル メシル酸塩	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Alcon Inc.	日本						2025年7月
				欧州						2023年2月
				アジア						2024年11月

ROCK (Rhoキナーゼ) 阻害剤。米国では、Alcon Inc. が開発し販売中。日本で、ROCK及びNET（ノルエピネフリンランスポーター）の阻害剤として、2025年7月に製造販売承認を申請。欧州で、販売承認を取得しており、スウェーデンなどで2023年2月以降発売。アジアでは順次販売承認を取得しており、韓国で2024年11月に発売。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジル メシル酸塩／ ラタノプロスト	STN1014000 / PG-324	緑内障・高眼圧症	Alcon Inc.	欧州						2023年1月
				アジア						2025年3月

ROCK (Rhoキナーゼ) 阻害剤及びプロスタグラジンF_{2α}誘導体の配合剤。米国では、Alcon Inc. が開発し販売中。欧州で販売承認を取得しており、ドイツなどで2023年1月以降発売。アジアでは順次販売承認を取得しており、シンガポールで2025年3月に発売。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジル メシル酸塩／ ラタノプロスト	STN1014003	緑内障・高眼圧症	Alcon Inc.	日本						

ROCK (Rhoキナーゼ) 阻害剤及びプロスタグラジンF_{2α}誘導体の配合剤。米国では、Alcon Inc. が開発し販売中。STN1014000とは容器が異なる。日本で、2025年2月にフェーズ3試験を開始。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスボリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	中国						2025年12月

免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。中国で、2025年12月に発売。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オロダテロール 塩酸塩	STN1014100	ドライアイ	ベーリンガー イングルハイム	日本	(フェーズ2b)					

β2受容体作動薬。日本で2025年5月にフェーズ2b試験を開始。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010904	フックス角膜内皮ジストロフィ	アクチュアライズと共同開発	米国 フランス インド	(フェーズ2a)					

mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。米国、フランス、インドで2022年5月からフェーズ2a試験を実施中。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本	(フェーズ2a)					

mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2024年6月から追加のフェーズ2a試験を実施中。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011402	アレルギー性結膜炎	日本ベーリングガーイングルハイム	日本						2024年5月
				中国						
				アジア						2025年12月

ヒスタミンH₁受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2024年5月に発売。中国で、2026年1月にフェーズ3試験を開始。アジアで、2025年12月に販売承認を申請。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011403	アレルギー性結膜炎	ベーリングガーイングルハイム	中国						2025年3月

ヒスタミンH₁受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。1日2回点眼の高用量製剤。中国で、2025年3月に販売承認を申請。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ニンテダニブ	STN1014200 / CBT-001	翼状片	Cloudbreak社	日本	(フェーズ2b)					

血管新生及び線維化の抑制作用を有するマルチキナーゼ阻害剤。日本で、2025年11月にフェーズ2b試験を開始。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本						2025年4月
				中国	(フェーズ2/3)					
				アジア						2025年7月

小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリ受容体拮抗薬。日本で、2025年4月に発売。中国で、2022年6月からフェーズ2/3試験を実施中。アジアで、2025年7月に販売承認を申請。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Syndexis社	欧州						2025年7月

小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリ受容体拮抗薬。欧州では、ドイツで2025年7月に発売。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
eflimumab alfa	STN1014300 / RC28-E	糖尿病黄斑浮腫	RemeGen社	中国						2025年9月

VEGF-AとFGF-2を同時に阻害する二重標的IgG1Fc融合タンパク質製剤。導入元であるRemeGen社により中国で、2025年9月に販売承認を申請。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
eflimumab alfa	STN1014301 / RC28-E	滲出型加齢黄斑変性	RemeGen社	中国						

VEGF-AとFGF-2を同時に阻害する二重標的IgG1Fc融合タンパク質製剤。導入元であるRemeGen社により中国でフェーズ3試験を実施中。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オキシメタゾリン塩酸塩	STN1013800	眼瞼下垂	RVL Pharmaceuticals社	日本						2025年12月
				欧州						
				中国						

直接作用型αアドレナリン受容体作動薬。米国では、RVL Pharmaceuticals社が開発し販売中。日本で、2025年12月に製造販売承認を取得。欧州で、2024年12月からフェーズ3試験を実施中。中国で、2024年10月からフェーズ3試験を実施中。

■2025年度第2四半期決算発表時（2025年11月6日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1007603 / DE-076C	中国で、2025年12月に発売。
STN1011402	中国で、2026年1月にフェーズ3試験を開始。 アジアで、2025年12月に販売承認を申請。
STN1014200 / CBT-001	日本で、2025年11月にフェーズ2b試験を開始。
STN1013800	日本で、2025年12月に製造販売承認を取得。

（3）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	5,865	7,545	5,494	9,000

(注) 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総額	4,965	6,632	5,258	7,260
製造経費	2,963	3,967	2,904	4,020
販売管理費	1,596	2,122	1,877	2,730
研究開発費	406	543	477	510

(注) 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総額	6,638	8,812	6,651	8,700
メルク製品無形資産償却費 Rocklatan/Roclanda（ロクラタン/ロクランダ）	3,698	4,815	3,322	4,400
無形資産償却費	1,071	1,506	1,379	1,750
プリザーフロマイクロシャント無形資産償却費	972	1,296	948	1,230
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	701	926	567	570
その他の	196	267	435	750

■研究開発費

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	16,773	24,103	18,372	25,000

（4）主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2025年3月期 第3四半期		2026年3月期 第3四半期		2026年3月期 (予想)
	2025年3月期 第3四半期	2025年3月期	2026年3月期 第3四半期	2026年3月期	
USドル	152.63	152.70	148.91	145.00	
ユーロ	164.96	163.57	171.67	160.00	
中国元	21.33	21.29	20.88	20.50	

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。